

プレゼントにご満悦

高杉キヨさん100歳を迎える

高杉キヨさん(元・新町1)が、11月25日(水)入所する特別養護老人ホーム「すわんの里」(五所川原市)で100歳の誕生日を迎えられ、秋元副町長から顕彰状と祝い金が手渡されました。

副町長からは「100歳おめでとうございます。これからまだまだ長生きしてください」と祝いました。

高杉さんは、大正4年に旧三厩村に生まれ、昭和12年に旧小泊村の高杉四郎さんに嫁ぎました。若いころは山菜取りや畑づくりに従事していたそうです。また趣味は手芸で、入所後はのんびりと過ごしているそうです。孫から帽子をプレゼントされると、さっそく身に着け満足そうにしていました。



国防を担う人材確保を目指し

自衛官募集相談員に辞令交付

自衛官を志望する人たちへの広報活動などを行う「自衛官募集相談員」の委嘱辞令が、11月24日(火)町長室で手渡されました。

増田青森地方協力本部長と町長からの連名で委嘱された人たちは4人。委嘱されたうちの1人成田さんは「孫も自衛隊に入っている。優秀で、自衛隊でがんばれる人材をできるだけ確保できるよう努力したい」と抱負を述べていました。

委嘱された方は、成田寛さん(中里)、大川幸勝さん(中里)、田中秀一さん(中里)、角田廣さん(小泊)です。任期は11月24日から2年間で、自衛隊に関する相談業務を行います。

中泊町をよくしたい

いいなかどまり会発足

中泊町を活性化しようと若者を中心とした「いいなかどまり会」(会長・成田道史)が活動を始め、11月30日(月)に小野町長を訪問しました。

発足した経緯やこれからの活動について話すと、小野町長は「若い人だから気づくこともあると思う。これからどんどん活動して行って町を活性化して欲しい」と激励しました。



社会に貢献していきたい

中里地域で赤十字分団結成

中里地域の中里赤十字奉仕団に中里・武田・内潟婦人会が加入することになり、11月24日(火)中央公民館で中里赤十字奉仕団分団結成式が行われ、約80人が出席しました。

これにより、中里地域には4つの分団ができ、合わせて約230人の奉仕団となりました。

結成式では、奉仕団の委員長である外崎義信さんが「奉仕団全体で、救護支援・防災活動などさまざまな活動を行い、社会貢献していきたい」と結成のこぼを述べました。

会場いっぱいの拍手と歓声

花柳穂紀桜チャリティー公演

花柳穂紀桜道場開設35周年を記念したチャリティー公演が11月29日(日)、町総合文化センターパルナスで行われ、会場には約800人が来場しました。

鶴田町太鼓の会の演奏で始まった公演は、終始華やかで来場者は見入っていました。妖艶な踊りの他、中里三味線会やキングレコード所属の弘前さくらさんらが応援に駆け付けるなど会場は大いに盛り上がりました。特に最年少の荒関いち はさん(小1)が登場すると、会場からはこの日1番の拍手や歓声があがりました。席が足りず立ち見となった来場者もいましたが、公演を見たあとは満足そうな顔で帰っていました。



ニュースポーツを体験

2015キッズスポーツフェスティバル

キッズスポーツフェスティバルが、12月6日(日)町体育センターで開催されました。

この日は、管内の小学生ら48人が参加しました。はじめにケガをしないよう準備体操し、全員で長縄跳びに挑戦しました。その後、6チームにわかれ、ドッジビーやディスクゲッターなどのニュースポーツにチャレンジしました。最後は2人組になってのニチレクボールをトーナメント方式で行いました。決勝戦は全員が見守る中で最後に逆転が起きるなど終始白熱した試合が行われました。

今年は1人が資格取得へ

防除用ヘリオペレーター講習

上豊岡地区水田で11月16日(月)から、防除用ヘリオペレーター講習が行われました。

今年の講習には、加藤琢磨さん(派立下)が参加しました。水田に立てられた旗を基準に旋回など、指導員の指示に従いながらオペレーター技能認定のための操作訓練を受けていました。

加藤さんは、筆記試験や実技試験を受け、認定されると来年にはヘリオペレーターとして防除作業に参加することになります。



除排雪の安全を祈願

町建設業協会が安全祈願

町建設業協会(会長・平山久宗)が、12月4日(金)大沢内克雪センターで、除排雪作業の安全祈願を行いました。祈願には小野町長や同協会関係者など約30人が参加し、除雪や排雪作業の安全を祈りました。

今年は、例年より積雪量が少ないですが、除雪に携わる参加者たちは「気を引き締めて、この冬の除排雪作業をすすめていきたい」と話していました。